

## 製品安全データシート

作成日 2024年4月18日

### 1. 化学品及び会社情報

化学品名 グリコール酸

供給者の会社名称 アーク株式会社

住所 大阪市北区西天満3丁目10-3

電話番号 06-6809-5970

FAX 番号 06-6809-5975

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 JIS Z 7252、7253 : 2019 使用

物理化学的危険性 該当する区分なし

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分4

急性毒性(吸入) 区分4

皮膚腐食性/刺激性 区分1B

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1

生殖毒性 区分2

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(呼吸器系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(肝臓)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分3

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報 飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ

重篤な皮膚の損傷

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

呼吸器への刺激のおそれ

長期又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に有害

## 注意書き

### 【安全対策】

- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
- 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
- 静電気放電や火花による引火を防止すること。
- 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 容器を密閉しておくこと。

### 【応急措置】

- 火災の場合には適切な消火方法をとること。
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。
- 眼に入った場合、水で数分間、注意深く洗うこと。
- コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
- 皮膚（又は毛髪）に付着した場合、直ちにすべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

### 【保管】

- 容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

### 【廃棄】

- 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成、成分情報

化学物質／混合物の区別 混合物

化学名又は一般名 グリコール酸(70% 水溶液)

別名 Hydroxyacetic Acid(70% in water)

化学式 C<sub>2</sub>H<sub>4</sub>O<sub>3</sub>

濃度 ≥70.0%

C A S 番号 79-14-1

官報公示整理番号

化審法：(2)-1346、 安衛法：公表化学物質

#### 4. 応急措置

吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は医師を呼ぶこと。

皮膚に付着した場合 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぎ取り去ること。

適温の緩やかな流水により、15分以上洗浄する。

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを求めること。

気分が悪い時は医師を呼ぶこと。

脱いだ衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。

目に入った場合 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

洗浄を続けること。

水で数分間、注意深く洗うこと。

この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。不十分であると不可逆的な眼の傷害を生ずるおそれがある。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 気分が悪い時は医師を呼ぶこと。

口をすすぐこと。

吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

#### 5. 火災時の措置

消火剤 粉末、泡、水噴霧、二酸化炭素、

特有の消火方法 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。

引火点が極めて低い：散水以外の消火剤で消火の効果がでない大きな火災の場合には散水する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

風上から消火する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に入る前に換気する。

環境に対する注意事項 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化方法・機材 危険でなければ漏れを止める。

漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。

蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。

二次災害の防止策 すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

蒸気発生が多い場合は、噴霧注水により蒸気発生を抑制する。

関係箇所に通報し応援を求める。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項 できれば、密閉系で取扱う。

蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。

安全取扱い注意事項 あらゆる接触を避ける。

### 保管

適切な保管条件 容器を密栓して冷暗所に保管する。

施錠して保管する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料 法令の定めるところに従う。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。

管理濃度 設定されていない。

### 保護具

呼吸器の保護具 適切な呼吸器保護具（防毒マスク（有機ガス用）、高濃度の場合、送気マスク空気呼吸器、）を着用すること。

手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具 適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 保護長靴、耐油性（不浸透性・静電気防止対策用）前掛け、防護服（静電気防止対策用）等製造業者が指定する保護具を着用すること。

衛生対策 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 液体

形状 透明

色 無色~黄色

臭い 情報なし

pH 情報なし

融点/凝固点 10°C

沸点、初留点及び沸騰範囲 112°C

引火点 情報なし

爆発範囲 下限：情報なし

上限：情報なし

溶解度 水、エタノール：極めて溶けやすい

比重（密度） 1.27g/ml

オクタノール/水分配係数 -1.11

相対ガス密度 情報なし

分解温度 データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性 情報なし

化学的安定性 適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性 特別な反応性は報告されていない。

避けるべき条件 情報なし

混触危険物質 酸化剤, 強塩基, 金属, 硫化物, シアン化物

危険有害な分解生成物 二酸化炭素, 一酸化炭素

## 11. 有害性情報

急性毒性 orl-rat LD50 : 1938 mg/kg

ihl-rat LC50 : 3600 mg/m<sup>3</sup>/4H

ivn-cat LD50 : 1 g/kg

皮膚腐食性/刺激性 skn-rbt : 0.5 mL SEV

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激 eye-rbt 2 mg SEV

生殖細胞変異原性 情報なし

発がん性 IARC= 情報なし

NTP= 情報なし

生殖毒性 orl-rat TDLLo : 5250 mg/kg(7-21D preg)

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 情報なし

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 情報なし

誤えん有害性 情報なし

## 12. 環境影響情報

生態毒性 魚類：96h LC50：78 mg/L(*Oryzias latipes*)

甲殻類：48h EC50：44 mg/L(*Daphnia magna*)

藻類：72h EC50：36 mg/L(*Selenastrum capricornutum*)

残留性・分解性 情報なし

生体蓄積性(BCF) 情報なし

土壌中の移動性 オクタノール/水分配係数：-1.11

土壌吸着係数(Koc)：情報なし

ヘンリー定数(PaM<sup>3</sup>/mol)：情報なし

オゾン層への有害性 情報なし

## 13. 廃棄上の注意：

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号 3265

品名(国連輸送名) Corrosive liquid, acidic, organic, n.o.s.

国連分類 クラス 8(腐食性物質)

容器等級 II

輸送の特定の安全対策及び条件 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように 積み込み、荷崩れの防止を確実にを行い、法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

消防法 非該当

毒物及び劇物取締法 劇物

労働安全衛生法 非該当

令和6年4月1日以降、皮膚等障害化学物質等(規則 第594条の2 第1項)

危険物船舶運送及び貯蔵規則 腐食性物質(危規則第3条 危険物告示 別表第1)

航空法 腐食性物質(施行規則第194条 危険物告示 別表第1)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 非該当

## 16. その他の情報

参考文献は必要に応じて記載した。